



◎ゲストの皆様へのご質問

～報告書の記述の仕方について～

従来、「おトイレ（排泄）」については、あった場合は＋（プラス記号）なかった場合は－（マイナス記号）のように記述させて頂いておりました。ゲストの皆様の安全と快適を守り、最適なサービスをお届けする責任のある我々としては、「記録は迅速且つ判別しやすく」をモットーにしていたからです。

しかし、「判りにくい」「あった、なかった」と書いて欲しい等、賛否両論も頂いております。

そこで「自立センター前穂」が皆様にご提出させて頂いております報告書の類で、「判りにくい・・・こう書いて欲しい等」何かございましたら、何でも結構ですからお聞かせ頂けませんでしょうか？お寄せ頂いたご意見に基づいて研鑽に努めより良いものにしてゆきたいと願っております。誠に恐縮ですが、宜しくお願い致します。

※どの機関においても適切な援助がなされるためには記録や報告書の書式は、全機関において統一される方が良くと、長年、痛切に考えておりました。いずれの日にか、ひとつの窓口で受付をすませたら、どの機関でも同水準のサービスが享受できるようになる為にも、「前穂」は、いま一步前へ進まさせて頂きます。

生活訓練プログラムの担当をさせて頂いております銭谷です。寒い季節となり、風邪をひいたり、体調を崩しやすい時期です。「前穂」では生活訓練の一環として一環として、手洗い・うがいを徹底させて頂いております。この時期に流行るインフルエンザの予防の為です。「前穂」を利用される皆様の体調をお守りする為ですので、ご家庭でも外出から帰って来られましたら、手洗い・うがいをして頂けたらと思います。

事前にショートステイ並びにガイドヘルプを申し込まれ、当日体調を崩されてましたら、遠慮なくキャンセルをお申し付け下さい。スタッフ一同、元気になられてからのご利用を心からお待ちしております。